

静岡県民俗学会会報 198号

<http://web.thn.jp/s-folklore>

2026年5月1日発行

静岡県民俗学会 〒424-0053

静岡市清水区渋川1-9-6-101

✉ S-folklore@fuji.tnc.ne.jp

振替口座：00850-5-10438

静岡県民俗学会創立五十周年記念大会

静岡県民俗学会は、昭和51年(1976)10月23日に静岡市立図書館において発会式をおこない発足しました。創立10周年では『静岡県の祭ごよみ』(静岡新聞社)を刊行、創立20周年では『アマの習俗調査』を会誌16号に掲載、創立30周年では『中日本民俗論』(岩田書院)刊行と、会員の調査研究の成果をまとめてきました。また創立40周年では、富士山がユネスコ世界文化遺産に登録されたことを記念して、富士山のシンポジウムをおこないました。

本年度は創立50周年となり、本会が半世紀もの長きにわたって活動してきた節目の年となります。そこで、第一部の基調講演ではお二人の講師をお招きしました。お一人目は本会を発足当初から牽引されてきたお一人である中村羊一郎氏です。本会の軌跡を振り返りながら、民俗について自由にお話していただくこととしました。お二人目は静岡市出身の岩田重則氏です。近現代史研究の立場から、静岡県の民俗調査を通じて多くの知見を語っていただくこととしました。

第二部では、このお二人のご講演をふまえて、会場との自由討論の場を設けることとしました。ふだん、民俗調査・民具調査で疑問に感じていること、これからの民俗について不安を感じていること、などなど自由に意見をいただきたいと考えております。

記念大会は一般にも公開して、会員だけではなく多くの方にご参加いただきたいと思っております。まずは、会員の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

日時 令和8年6月28日(日)12:30~16:30

会場 清水テルサ(静岡市東部勤労者福祉センター)7階
中会議室(A) 電話 054-355-3111

静岡市清水区島崎町223

JR清水駅みなと口から徒歩約5分

★無料の駐車場はありません。

清水マリナートと清水テルサとの間にある市営駐車場をご利用ください。



総会大会出欠届

プログラム

- 日程 12:30~ 総会
13:00~ 第一部 基調講演
中村 羊一郎氏・岩田 重則氏
15:30~ 第二部 自由討論
17:30~ 懇親会 JR清水駅周辺
会費 5,000円

第一部 基調講演

中村 羊一郎氏

「静岡県民俗学会創立五十年を振り返って」

岩田 重則氏

「民俗の多様性と流動性」

〈講演要旨〉 葦の髄から天井を見る、そんな私見にすぎませんが、民俗学の現在について、述べてみたいと思います。といっても、ありがたいな、柳田國男がどうのこの、折口信夫がどうのこの、そんな屁理屈ではなく、静岡県の民俗事象に即して、具体的に考えたいと思います。あたりまえのことなのですが、民俗事象とは、そもそも固定的ではなく、多様性と流動性に富んだ実在であり、それらをリアルにとらえ、記録、分析するべきではなかったのか、そんな話です。事例としては、わたし自身が静岡市出身なので、わたし自身の駿河区下川原の事例と、沼津市西浦地区の事例に拠りたいと思っています。わたしも65歳なので、自分自身の事例をとりあげてもよいかなと思っています。

総会大会への出欠は、同封のハガキもしくはQRコード、学会メール宛にてお送りください。